

かみふらの

# 議会だより

第 95 号

2017年7月25日発行  
発行 上富良野町議会

## Contents

- 2P 第2回定例会 農業委員会委員の任命ほか
- 7P 一般質問 3名の議員が町政を問う。
- 12P ☆ぴが☆つと輝くまちのひと

第2回定例会を6月20日から21日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例、人事案件などを審議しました。  
また、3人の議員がアグリパートナーや保育料、定住移住についての一般質問を行い、町の考えを問いました。

# 農業委員会 委員決まる

新しい農業委員が決まりました！



桑田 俊和さん  
西1線



佐藤 良二さん  
西6線



井村 昭次さん  
西6線



青地 修さん  
東7線



島田 政志さん  
東6線



北村 啓一さん  
東2線



谷本 嘉彦さん  
西9線



長谷川 裕見さん  
西11線



對馬 徹さん  
細野農場内



三好 利和さん  
丘町3丁目



沼沢 春美さん  
西6線



井村 悦丈さん  
東3線



岩田 修さん  
東7線

※右上より議案番号順  
に掲載しています。

農業委員の公選制度の廃止後、初めて農業委員会委員の任命の提案がされました。  
町議会では、農業委員会委員の1人ひとりについて、無記名投票を行い、13人の農業委員会委員の任命について賛成多数で同意をすることに決定しました。任期はこれまでと同じ3年です。  
農業委員の選出方法が、公選制から市町村長による任命制に変わりました。これまで公選委員と、農協、農業共済組合、土地改良区や議会から選任される委員によって構成されていましたが、この制度もなくなり、農業委員は市町村長の任命に一本化されました。

■ 6月補正予算の状況 ■

会計名		補正額	総予算額
一般会計		2億6860万5千円	65億2866万2千円
特別会計	国民健康保険	1億1073万6千円	15億8532万5千円
	後期高齢者医療	6万7千円	1億3713万円
	介護保険	1940万円	9億4235万5千円
	ラベンダーハイツ事業	19万円	2億9996万4千円
	簡易水道事業	47万9千円	6479万7千円
	公共下水道事業	323万円	4億3384万8千円
特別会計	病院事業	収益的支出	—
		資本的支出	126万円
			9億729万円
			2984万3千円

補正予算

一般会計の補正予算を可決

平成29年度一般会計補正予算（歳入）の概要は次のとおりです。

軽自動車税（現年課税分）42万5千円、南部地区土砂流出対策1千40万2千円、経営体育成支援事業補助576万1千円、地域振興費寄附金（12件）157万円、過年度収入として、平成27年度地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業590万円及び平成28年度日の出公園整備事業8千140万円など、総額2億6860万5千円を増額する補正予算を可決しました。

各特別会計及び企業会計

補正予算を可決

平成28年度各会計決算確定に伴う増額補正を、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道事業、公共下水道事業の各特別会計で行い、ラベンダーハイツ事業特別会計においては、寄附採納による増額補正、病院事業会計においては、寄附採納及び奨学資金の貸付に伴う増額補正を行う補正予算を、原案通り可決しました。

条例

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

情報ネットワーク社会を有効に活用した町づくりを進め、町民の利便性向上と行政運営の簡素化・効率化を図るため、行政手続きにおいて書面等による手続きのほか、情報ネットワークを利用した手続き（オンライン化手続き）を可能とするための通則的な条例を定めるこの条例については、十分な審議時間を要するため、総務産建常任委員会に付託されました。

印鑑条例等の一部を改正

より利便性の高い住民サービスとして、平成29年11月から、個人番号カード（マイナンバーカード）を活用した「証明書コンビニ交付サービス」を開始することに伴い、個人番号カードで印鑑登録証明書の交付を可能とするため、「上富良野町印鑑条例」の一部を改正し、またコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末で発行する証明書の交付手数料を定めるため「上富良野町手数料条例」の一部を改正する条例を可決しました。

手数料条例の改正内容

現行	改正
19 住民票及び戸籍の附票等の写しの交付 又は証明書の交付に関する手数料	個人票1枚につき 200円 世帯票1件につき 400円
19 住民票及び戸籍の附票等の写しの交付 又は証明書の交付に関する手数料	個人票1枚につき 200円 世帯票1件につき 400円 ただし、多機能端末（地方公共団体情報システム機構の使用に係る電子計算機を経由して本町の使用に係る電子計算機と電気通信回線で接続された通信端末機器をいう。）により交付する場合には、 1通につき 200円

平成27年第3回定例会以降の閉会中の継続調査として、各常任委員会が調査していた事件について報告されました。

# 事務調査報告

## 総務産建常任委員会

### ジオパークによる

### 地域活性化について

ジオパーク活動に取り組むことにより、①経済的視点として、活動による地域経済の活性化が期待でき、住民による地域資源の新たな活用方法が生み出され、経済の進展につながる。また、様々な人々の協働による制が生まれ、協働によるまちづくりが進む。

②教育的視点として、子どもたちの郷土学習

が図られ、人口減少などの問題解決にもなると思われる。

③将来的視点として、日本ジオパーク認定が受けられることにより、長期的に行政と住民の協力のもと継続的・持続的に活動が行われることで、まちづくりの明確な目標となり無形の資産を形成する可能性が高まると考える。



十勝岳ジオパーク構想ロゴ

### 友好都市提携の

### 方向性について

以上のことから、将来のまちづくりの起爆剤・原動力となりうる可能性が高いと思われること

から、美瑛町・上富良野町によるジオパーク活動への取り組みが必要と考える。

### カナダ国カムローズ市

海外からの観光客が増加している中で、町民の交流と英語力を高める上において、交流は意義深いものと考ええる。

### 三重県津市

今年20年の節目を迎える友好都市提携の継続・発展のため、次世代の交流を担う、児童・生徒の相互訪問の機会を拡充すべきである。

友好都市提携の目的である経済振興は、お互

いのまちにあるモノ、無いモノを認識し、求め合い、生かし合う「互産互消」の考え方の尊重により、振興になると考える。

観光面では、上富良野町には津市に無い観光資源があり、津市には夏の海や北海道に無い貴重な歴史がある。これらをキーワードに、さらなる観光面での交流も深めることを期待する。

今後、両市町にとってより意義深い交流となるよう、積極的な施策の展開が必要と考える。

しかし、英語指導助手のカムローズ市からの招へいが困難となり、交流が疎遠になりつつある。また、「日本・カムローズ友の会」も中核を担ってきた人材の引退に伴い、双方の調整に支障をきたしている。

以上のことから、友好都市提携を細く長く続けていくためには再度、双方の窓口の明確化と、英語指導助手の招へいに向け、努力を重ねることが必要と考える。



三重県津市にある友好都市提携記念碑



# 各委員会所管

## 厚生文教常任委員会

### 子育て支援について

子育て支援は、少子化対策の重要な環境整備の意味を持つと強く感じた。

子育てに至るまでを考えると、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てと移行する全てにおいて「不安」という概念を緩和することから始まると思われる。

上富良野町の子育ての支援は、妊産婦・検診や出産後などへの保健



子どもセンターで遊ぶ親子

指導をはじめ、「かみふつ子健診」や「すくらむかみふ」など、放課後クラブの低料金での配慮など様々な対応があり、全体を見ると充実されていると思われる。今後においては、子供を生み育てることに安心を与える施策であるのか社会全体で考え、地域でどれだけ支援し、見守る体制の整備ができるか求められている。

## 福祉介護について

上富良野町の福祉に対するサービスは、「支えあい、教えあい、育てあい」の基本目標である、上富良野町地域福祉計画に基づき社会福祉の構築がなされ、在宅福祉サービスや町独自の助成策がある。

介護認定者数の伸びについても、特定健診や特定保健指導により比較的緩やかであり、介護予防策が成果を上げている。

老々介護という言葉が生まれた昨今、町も地域社会の形成を支えて来た人々の高齢化が進み、支えの弱体化という点で不安は消せない。

特別養護老人ホームラベンダーハイツの運営においても、町民が不安を持つことのないよう、公設公営の町の責任の覚悟がある。

今後は、隣接医療機関



町の介護保険施設であるラベンダーハイツ

との連携による医療と介護の一体的改革を行い、質の高い保健医療と福祉サービスの確保が期待される。介護従事者の人員確保や労働環境の負担軽減のため、介護ロボットの導入も視野に加えたい。

防・日常生活支援総合事業の運営が介護・福祉の面で更なる前進の一歩となり、個々の尊厳を互いに認め合える共通の理解と、任んで良かったと思える町になるよう、次期「第7期上富良野町高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画」に期待したい。

協  
定

公共下水道浄化センター他の  
建設工事委託協定の締結

公共下水道浄化センターで現在稼働中の3系列のうち第2系列は、平成7年の稼働より22年経過しているため、主要設備を中心に機械・電気・建築の設備の一体的な工事を実施します。契約方法は随意契約、契約金額は9千590万円、契約の相手方は日本下水道事業団、支払い方法は予算の範囲内において年度資金計画によるとし、平成31年3月29日を完成期限とする議案が、原案通り可決されました。

人  
事



山本 勉さん (再)  
東3線

人権擁護委員候補者に山本勉さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。

第3回臨時会（4月27日開催）

各請負契約の締結議案を可決

上富良野中学校特別教室棟改築及び老朽改修工事における建築主体工事の請負契約を、契約金額3億1千663万4千400円、契約の相手方にアラタ・健名・創成特定共同企業体とする議案及び、同工事の機械設備工事の請負契約を、契約金額9千180万円、契約の相手方に株式会社有我工業所とする議案が、原案通り可決されました。どちらも工期は、契約の日から平成30年2月28日となります。

第4回臨時会（5月31日開催）

一般会計補正予算の専決処分を承認

4月18日に発生した強風により破損した東中教職員住宅、白銀荘及び旧東中中学校の町有3施設の屋根修復のため、工事請負費と修繕費、合計181万9千900円の予算措置を講じ、歳入は、建物災害給付金を財源とし、不足部分は予備費を充当する補正予算の専決処分を承認しました。

ラベンダーハイツ事業特別会計

補正予算を可決

平成28年度は歳入の確保及び歳出削減に努めました。2千390万1千円の赤字決算見込みとなるため、平成29年度予算額に、歳入歳出それぞれ2千390万1千円を追加し、平成28年度へ前年度繰上充用金として歳入不足額が補充され、総額2億9千977万4千円とする補正予算を賛成多数で可決しました。

質  
疑

第4回臨時会（5月31日開催）

ラベンダーハイツ事業特別会計  
補正予算より

問

繰上充用2千390万1千円の平成27年度、28年度それぞれの内訳は。

答

平成27年度決算は1千884万9千円の赤字、28年度決算は505万2千円の赤字となっています。

問

昨年、4年間の改善計画が示されたが、28年度赤字に対する個別の改善計画はあるのか。

答

昨年示した4年間の改善計画を執行中でありそれを継続して歳入増、歳出削減の取り組みをしているところです。早期に計画通りになってほしいと考えています。  
現在、利用者も増えてきており、努力が少しずつ実ってきています。職員一丸となって取り組んでいきます。

富良野広域連合議会

第1回臨時会

平成29年第1回富良野広域連合議会臨時会が、5月16日に開催されました。

広域連合長から示された、議案3件（補正予算1件、財産の取得2件）が原案通り可決されたほか、欠員となっていた常任委員会委員が補充選任されました。



# 一般質問

## 3名の議員が町長に所信を問う。

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
8	中瀬 実 議員	① 農地中間管理機構について ② 富良野地方アグリパートナー協議会事業について
9	米沢 義英 議員	① 職員管理について ② 予約型乗合タクシーの充実について ③ 保育料の負担軽減対策について ④ 子どもの貧困対策について ⑤ 第6次総合計画について
10	村上 和子 議員	① 定住移住対策の取り組みについて ② コミュニティスクール導入の取り組みについて



—中瀬 実 議員—

農地

## 農地中間管理機構による農地の集積状況は効率的な農地の集積につながると考えている (町長)

**中瀬議員** 個人・法人の利用権の面積と件数について伺う。

**向山町長** 本制度を利用した利用権設定は、平成27年度3名、14haを引き受け、4名の個人認定農業者に賃借の設定が行われた。

借り受け希望の登録者は、現在13名、例年5月と9月に公募を行い、登録の有効期間は5年としている。

**中瀬議員** 利用権設定の最大年数は。また、同じ土地を再賃借できる

のか。

**向山町長** 最長の契約期間は10年であり、再契約は可能である。

**中瀬議員** この事業で集積は推進されたのか。

**向山町長** 賃借契約が成立した農地は、借り受け農業者の隣接、近接した農地であることが定義されており、借り受ける者が中心経営体として、人・農地プランに位置づけられていることから、効率的な農地の集積につながっていると考えている。



農地中間管理事業の資料

## 婚活

### 富良野地方アグリパートナー事業の成果は担い手育成につながるよう積極的に進める(農業委員会会長)

**中瀬議員** 現在もサ

マーフェスティバル、オータムフェスティバルの2回実施しているのか。

**青地農業委員会会長** 毎

年、サマーフェスティバルは7月、オータムフェスティバルは10月に、1泊2日の日程で実施している。

**中瀬議員** この交流会によるマッチングの数と、成婚に至った数は。

**青地農業委員会会長** 過去3年間のマッチングは、サマーで11組、成婚3組、オータムでマッチング5組、成婚1組である。本町では、平成27年

オータムにおいて、1組成婚に結び付いた。

**中瀬議員** 過去3年間の男女の参加状況は。

**青地農業委員会会長** サ

マーでは、平成26年が男性12名、女性5名の計17名、27年が男性12名、女性9名の計21名、28年が男性12名、女性7名の計19名となっている。

**中瀬議員** 参加女性との農業体験では、何を実施しているのか。

**北越農業委員会事務局長**

女性との交流体験では、バター・チーズ作り、秋にはボーリング交流、深山峠のガラスコップ作り、農作業の体験では、ピーマンの収穫等で、男性と女性のふれあいの場を持つような形で実施している。



今年度の定期総会の議案



子育て

— 米沢 義英 議員 —

## 子育て世帯の保育料の負担軽減対策を検討してみたい（町長）

**米沢議員** 子育て世帯にとっては、保育料の負担軽減は切実な問題である。

北海道では、保育所を利用する3歳未満児の保育料を、無償化にする補助制度を創設したが、町もその制度を活用し、保育料の見直しを実施すべきでは。

**向山町長** 町では、1号・2号及び3号認定の保育料は国の基準額よりも軽減をし、階層区分も、国の8階層区分を町では15階層に細分化し、

利用者の負担軽減をしている。

北海道では、平成29年度より少子化対策の独自事業の、子育て世帯の経済的負担対策として、本制度を創設した。子育て世帯の経済的負担

軽減には、有効と考える。一方、無償化により3号認定の入所者が増えることが予想され、保育士の配置や、こども園側の受け入れ体制などの課題も予想されることから、事業者との調整も

図りながら検討したい。



内閣府より発行されている新制度パンフレット

## 福祉

### 予約型乗合タクシーの充実を 利用者の利便性の向上のため アンケート調査を実施したい（町長）

**米沢議員**

予約型乗合タクシーの利用者から、次の要望が出ています。祝祭日の運行、町内と郊外の利用料金の均一化、さらに、通院患者や買い物客の混雑状況などによつては、予約時間間に間に合わないなど、多数の声がよせられている。

今後、利用者のアンケート調査を含め改善が必要では。

**向山町長**

町内タクシー業者2社の協力をいただき、本運行から5年目を迎える。平成25年度に利用者アンケートを実施、26年度から土曜日運行や当日予約を可能にするなど、利便性の向上を図ってきた。

その後、利用者数・登録者数増加や社会情勢



利便性の向上が求められる予約型乗合タクシー

の変化などもあり、事業内容の見直しを検討するため、現在アンケート調査を計画している。今後の町政懇談会やアンケート調査の結果

などを参考に、町内運行業者など関係団体との協議を通じ、利用者の利便性向上と、事業の安定的な継続や運営の検討をしてまいりたい。



—村上 和子 議員—

**空き家活用や発想転換し  
効果につながる定住移住策を  
移住最初の印象が大切。  
定着していただける知恵絞る（町長）**

移住



劣化が著しい、旭町の移住準備住宅

**村上議員** 移住準備住宅に旭町の元教員住宅を活用しているが、築50年近く、劣化がひどい。ここに固執せず、町有財産（元江幌小学校含む）や民間空き家の活用を考へては。

**向山町長** 移住準備住宅は非常に老朽化しており、更に手を加えることは想定していない。民間住宅の活用を前提に、制度設計していく。

元江幌小学校は、不動産鑑定評価し、売却を含めた利活用につなげ、移住準備住宅への活用は想定していない。

**村上議員** 定住移住促進連絡協議会の組織に、銀行や不動産業、移住者代表を入れ、就職会議の連携を密にしては。

**向山町長** 今後の様々な方の意見等、協議会に反映させる仕組みを検討する。

**村上議員** 子育て世帯の方が定住住宅を求めると、50万から100万円の補助を。

**向山町長** 子育て世帯には、別の観点から総合的な支援策を充実していきたい。

教育

**コミュニティスクール導入の  
進め方と取り組みは  
未来を担う子供の豊かな成長  
社会総がかり教育を実現する（教育長）**

**村上議員**

子供たちの生きる力は学校・家庭・地域の三者で、子供を育てる教育基盤醸成へつなげるのが、コミュニティスクールと考える。

どのような手続きと、

学校運営協議会設置の人選や研修等、校長の示す学校運営の基本方針の承認や、職員の任用にも意見を述べる事ができる。人選が難しいが、全校導入しては。

**服部教育長** 地域社会のつながりや支え合いの希薄化、子供たちの規範意識や社会性の課題、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むため、コミュニティスクールは有効な仕組みと考へている。

手続きは、学校運営協

議会を置く学校を指定し、委員は、学校保護者と地域住民の15名で設置する。

何を實現するか、目標ビジョンを熟議し承認、情報を共有し協働する。

本年度は西小学校に準備委員会を設置しており、西小学校を先に指

定し、様子を見て他の学校を指定していく。

コミュニティスクールの理解共有のため、広報啓発を6回、1回は先進地視察や講演会である。地域と共にある学校づくりで、子供たちが健全に育むために、積極的な展開をする。



導入のための西小での会議の様子

# 議会の窓



- 4月19日 厚生文教常任委員会  
第3回臨時会  
議会運営委員会
- 5月18日 総務産建常任委員会  
22日 厚生文教常任委員会  
26日 議会運営委員会  
31日 厚生文教常任委員会  
全員協議会
- 6月9日 総務産建常任委員会  
全員協議会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 14日 総務産建常任委員会
- 15日 議会運営委員会  
全員協議会
- 20日 第2回定例会（1日目）  
厚生文教常任委員会
- 21日 第2回定例会（2日目）  
議会広報特別委員会
- 29日 総務産建常任委員会
- 7月4日 西多摩郡町村議会議長会視察来町  
全道町村議会議員研修会・  
先進事例調査（～5日）
- 11日 議会広報特別委員会
- 13日 議会広報特別委員会

## ◆西多摩郡町村議会議長会が 視察来町しました。

7月4日に西多摩郡町村議会議長会が来町し、「議会改革、議会の活性化」について調査されました。

## ◆全道町村議会議員研修会・ 先進地行政調査を行いました。

7月4日に開催された全道町村議会議員研修会に議員13名が参加しました。

また、翌5日には岩見沢市の榎宝水ワイナリーで「6次産業化の取り組み」について調査しました。



## 議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

**9月12日（火）・13日（水）です！**

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たぐさんの傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 ⑤6992

# み~つけた!! ☆ぴか☆つと輝くまちのひと



**小学生から保育士を目指すように**

私は長女で、妹と10歳離れた弟がいます。小学生のころから、弟にミルクを飲ませ、おむつ交換をして、面倒を見ていました。とても楽しかった思い出として、今も心に残っています。

そのころから、子供たちとかかわる仕事をしたいと思ひ、大人になったら保育士になるのかなど、心のどこかで決めていた気がします。

保育士を目指して進学し、保育所での職場実習で子供たちと触れ合

幼保連携型認定こども園わかば愛育園で4月から保育教諭として勤務をしている小松芽生さん(21歳)に、保育教諭を目指した思いについて、お話を伺いました。

う中で、保育者の仕事をする<sup>と決めました。</sup>

**泣き、笑う子供たちに戸惑いながら**

職場では、2歳児を受け持っています。

子供たちから教えられることも、戸惑うこともたくさんあります。

相手のおもちゃを欲

しがったり、急に泣き出したり、私の予想を超える行動に、どう対処したら良いのか戸惑うことがあります。

その時は、迷うことなく先輩の保育教諭さんに助けを求めます。仕事に就いて間もない私にとって力

強い先輩です。とても感謝をしています。

**育てられた町に少しでも恩返しを**

上富良野町外で働くことも考えましたが、町内で保育教諭として働く<sup>と決めたのは、わか</sup>

ば愛育園で6年間過ごし、先生方に温かく見守られながら過ごすことが出来たからです。

子供たちが歌い、遊ぶ姿を見ながら仕事をしている<sup>と、私が園で過ご</sup>

したことを振り返る時があります。ですから、お世話になったこの町で働きながら少しでも恩返しができると思

い、子供たちと過ごしています。

**子供たちの心に残る先生に**

保育教諭になるまでにいろいろな人に支えられながら来ました。

これからもそうだと思っています。

子供たちが卒園しても、「先生に会いに来たよ」と気軽に声をかけてもらえる、心に残る先生になりたいです。

いろいろなことを吸収しながら、子供たちとわかば愛育園で過ごしたいと思ひます。



### 町議会にひと言

町や町議会には、若い人達が上富良野町に住んでみたいと思えるようなまちづくりを望んでいます。  
(インタビュー…米沢)

### ひとりごと...

■今年も早いもので半年が過ぎました。4月18日、台風を超えるような風が、作付けしたハウスをなぎ倒し、甚大な被害を受けました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。

■昨年の台風被害の跡を雑草が覆い、何もなかったように見えますが、今年もまた、充分な予防・減災に向けて何が出来るか考え、注意しなくてはいけない季節になりました。

■国のあり様が、経済、生活へと多くの変化をもたらし、不安が残ります。相互の信頼への道が拓かれる事に希望を見出したいと思ひます。

(高松 記)

議会広報特別委員会	
委員長	米沢 義英
副委員長	高松 克年
委員	北條 隆男
	竹山 正一
	荒生 博一
	中瀬 実